



株式会社 **ニコン**
広報・IR部

2011年3月期 第3四半期決算説明会資料

2011年2月3日
株式会社ニコン

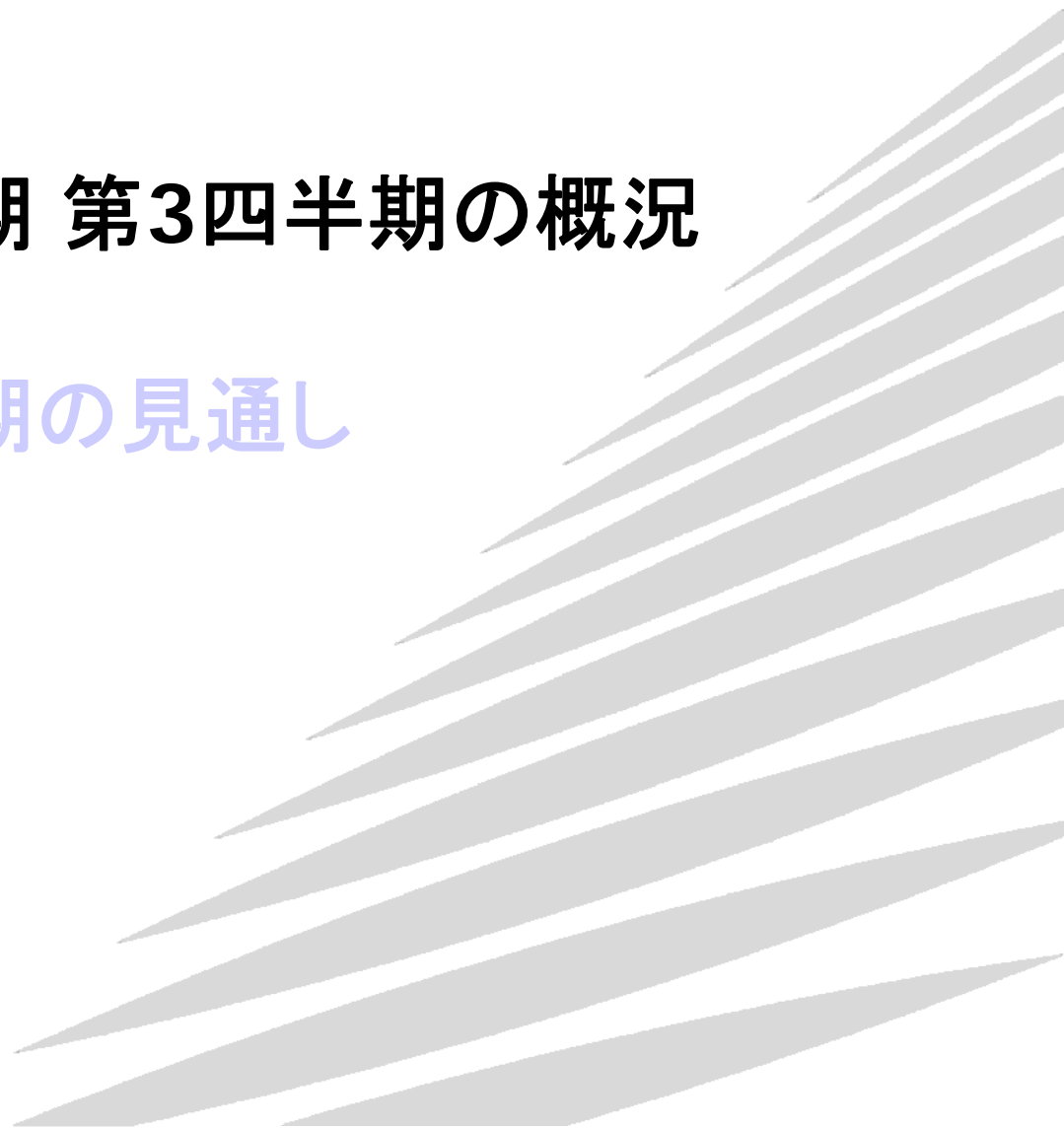
※本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスク及び不確実性が含まれます。従いまして、様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく乖離する結果となる可能性があることをご承知おきください。

Agenda

I . 2011年3月期 第3四半期の概況

II . 2011年3月期の見通し

III . 参考データ



2011年3月期 第3四半期 連結売上高・損益



単位: 億円	10年3月期		11年3月期		前年実績比	
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計
売上高	2,234	5,915	2,538	6,518	+304	+603
営業利益 売上高比	34 1.5%	▲161 -%	186 7.3%	337 5.2%	+152	+498
経常利益 売上高比	37 1.7%	▲186 -%	179 7.1%	357 5.5%	+142	+543
当期純利益 売上高比	0 -%	▲176 -%	97 3.8%	203 3.1%	+97	+379
FCF	367		659		+292	
為替: ドル	90円	94円	83円	87円	売上高への影響額(億円) ▲184 ▲432	
ユーロ	133円	133円	112円	113円	営業利益への影響額(億円) ▲87 ▲206	

精機とインストルメンツが回復基調、加えて映像は販売台数増加で円高の影響をほぼはね返し、3Q・3Q累計ともに全体で前年比増収増益

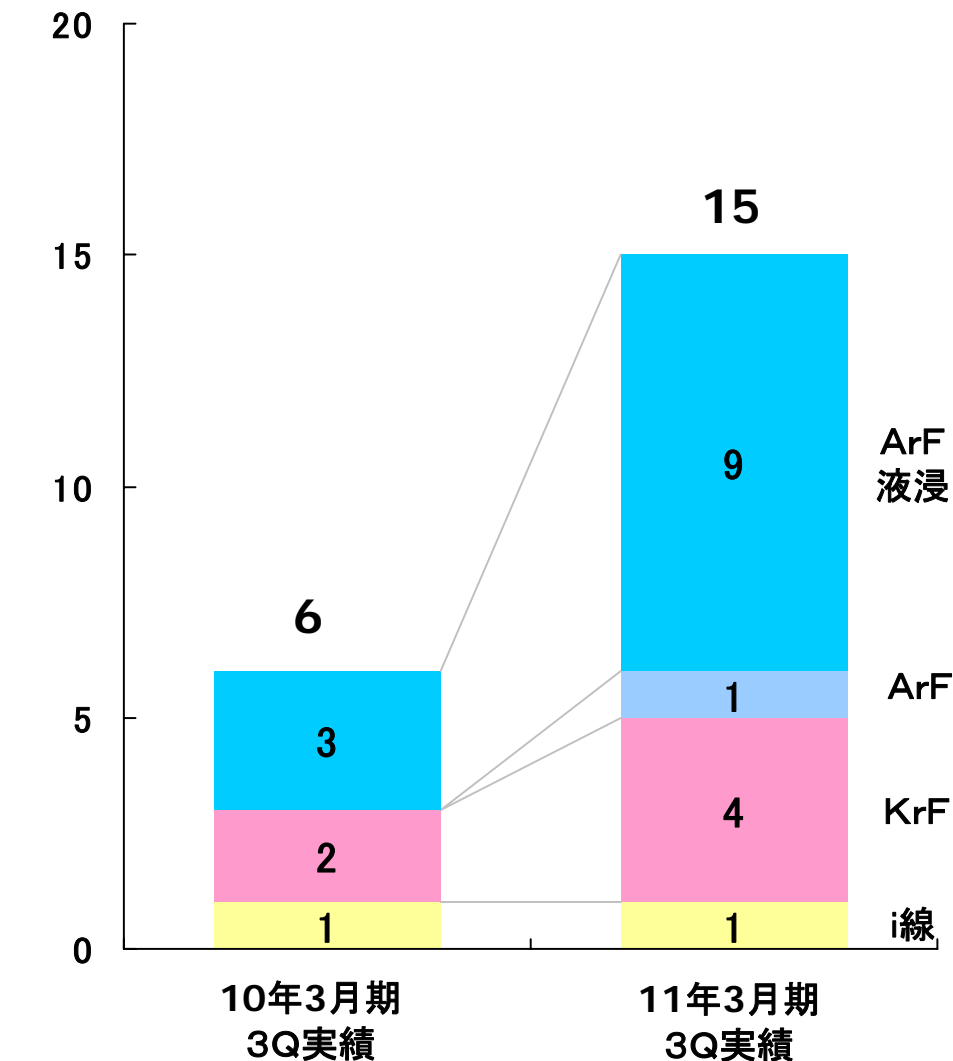
* スライドで使用している数値はすべて億円未満は四捨五入してあります。

	10年3月期		11年3月期		前年実績比	
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計
売上高	309億円	972億円	614億円	1,422億円	+305	+450
営業利益 <small>売上高比</small>	▲92億円 <small>-%</small>	▲532億円 <small>-%</small>	33億円 <small>5.4%</small>	▲14億円 <small>-%</small>	+125	+518
半導体露光装置 新品/中古	6/1台	24/5台	15/5台	33/17台	+9/+4	+9/+12
液晶露光装置	14台	30台	18台	41台	+4	+11

半導体・液晶露光装置ともに市場環境が好転し、3Q累計の販売台数は前年比約4割増。3Qは9四半期ぶりの黒字化を達成

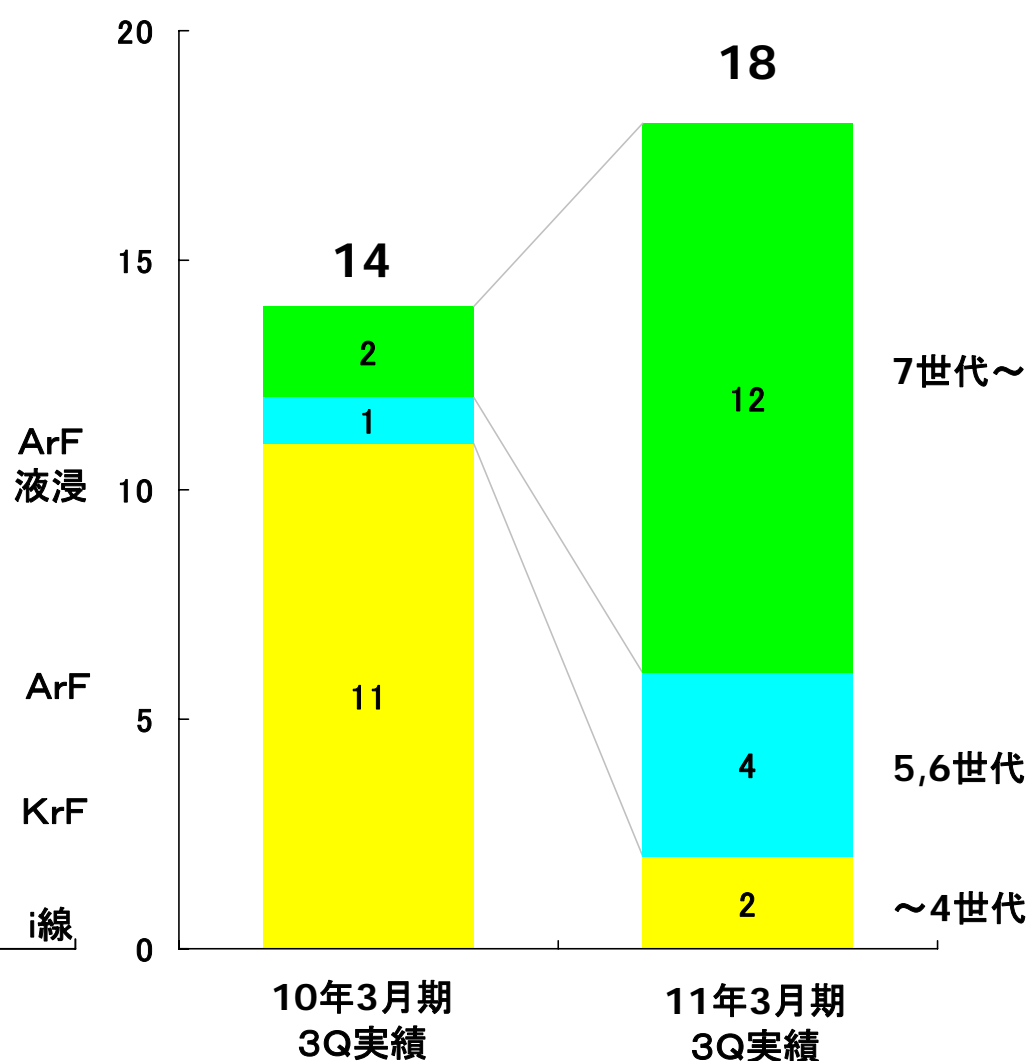
半導体露光装置光源別販売台数

単位:台



液晶露光装置世代別販売台数

単位:台



	10年3月期		11年3月期		前年実績比	
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計
売上高	1,748億円	4,501億円	1,722億円	4,540億円	▲26	+39
営業利益 売上高比	174億円 10.0%	440億円 9.8%	157億円 9.1%	380億円 8.4%	▲17	▲60
デジタル一眼レフ カメラ	120万台	285万台	125万台	315万台	+5	+30
交換レンズ	175万本	420万本	185万本	480万本	+10	+60
コンパクト デジタルカメラ	408万台	922万台	490万台	1,160万台	+82	+238

四半期の販売台数としては、全ての製品群で過去最高を更新。コンパクトは、市場が前3Q比横ばいのなか2割の販売台数増。前年比、3Qは減収・減益、3Q累計では増収・減益だが、円高の影響を除けば、ともに増収・増益

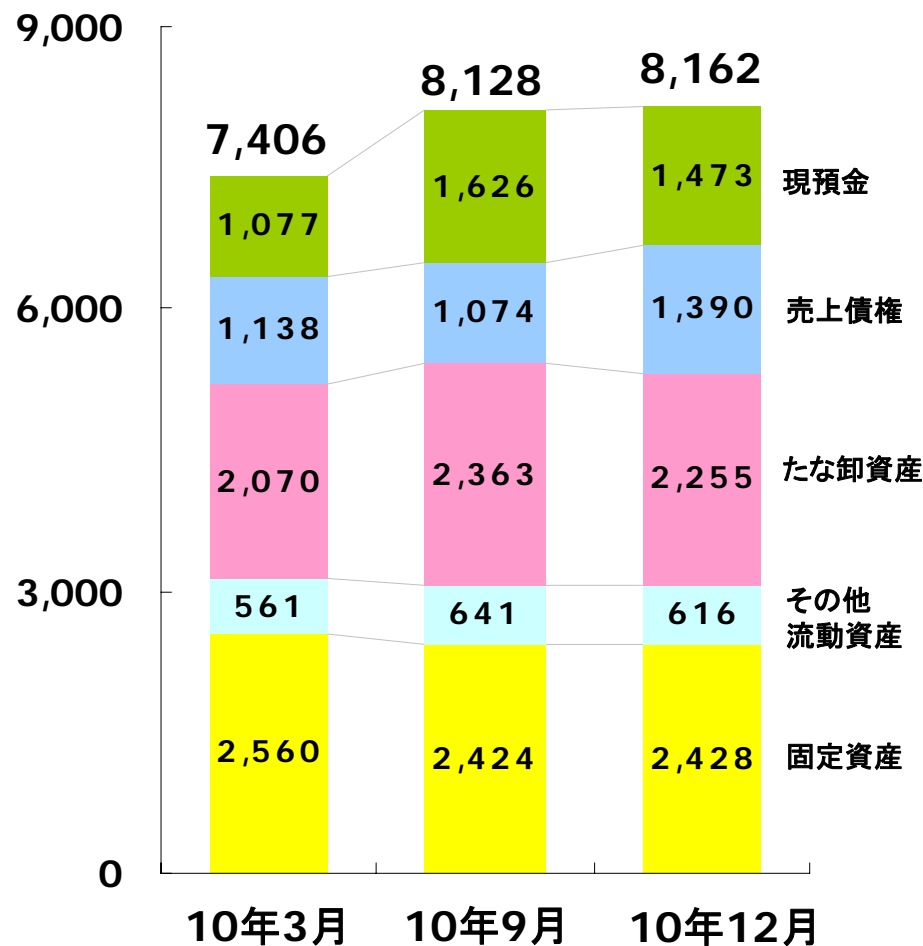
	10年3月期		11年3月期		前年実績比	
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計
売上高	118億円	296億円	130億円	372億円	+12	+76
営業利益 売上高比	▲57億円 -%	▲83億円 -%	▲16億円 -%	▲58億円 -%	+41	+25

バイオサイエンス分野は横ばいだが、産業機器分野は回復してきた。
3Q・3Q累計ともに前年比増収、赤字幅は大幅縮小



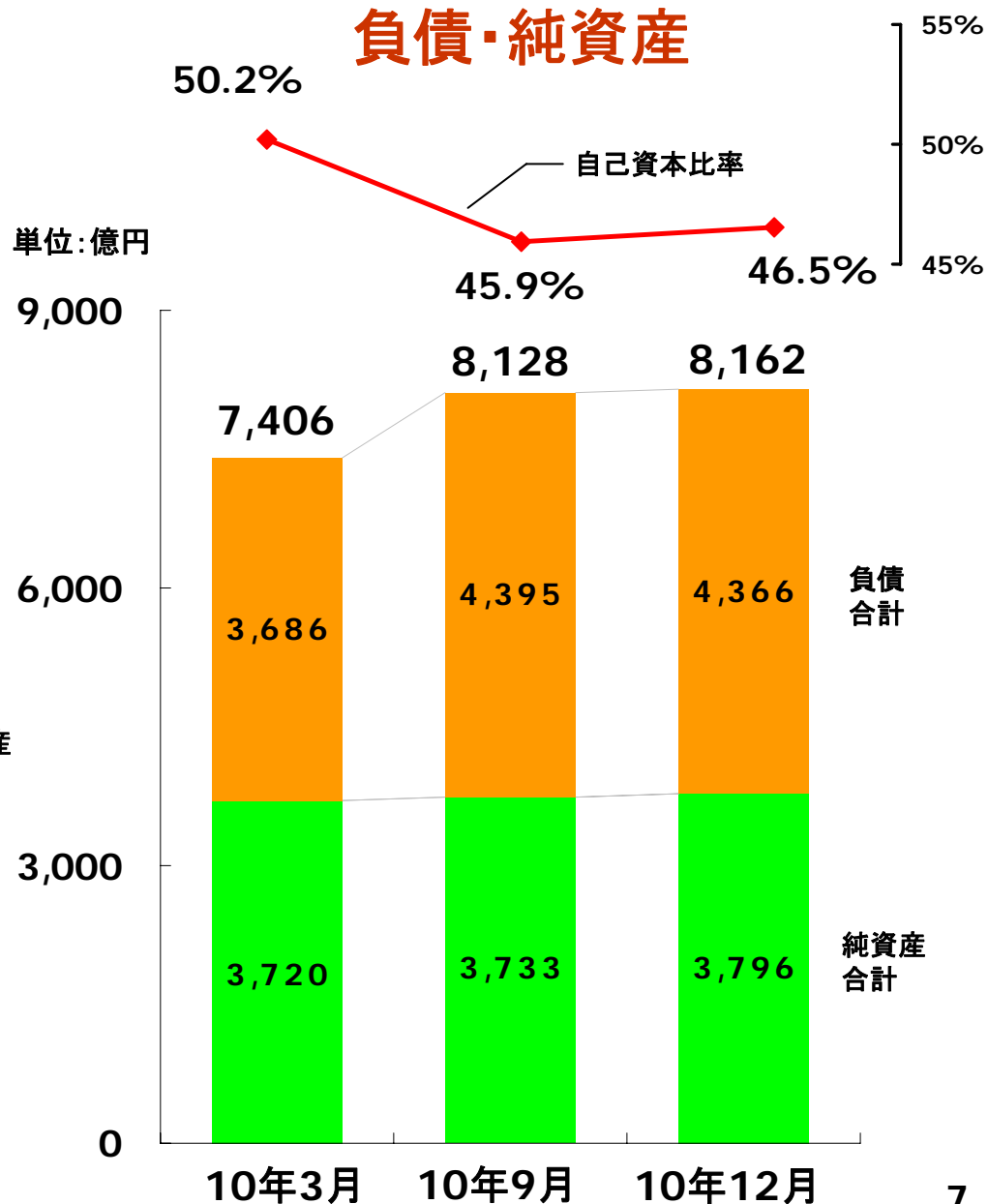
資産

単位:億円



負債・純資産

単位:億円



◆3Q・3Q累計ともに、円高の進行にもかかわらず前年比増収増益。
3Q累計のフリーキャッシュフローは、プラス659億円

【精機】

- ・ArF液浸スキャナー、大型パネル用液晶露光装置の台数増加で、3Qは黒字に転換
- ・3Q累計では、ブレークイーブン近くまで赤字幅が縮小

【映像】

- ・一眼レフ、交換レンズ、コンパクトともに好調継続、特にコンパクトは継続してシェアが向上
- ・3Qは前年比減収・減益(3Q累計では増収・減益)となっているが、販売台数の増加で円高の影響をほぼ吸収

【インストルメンツ】

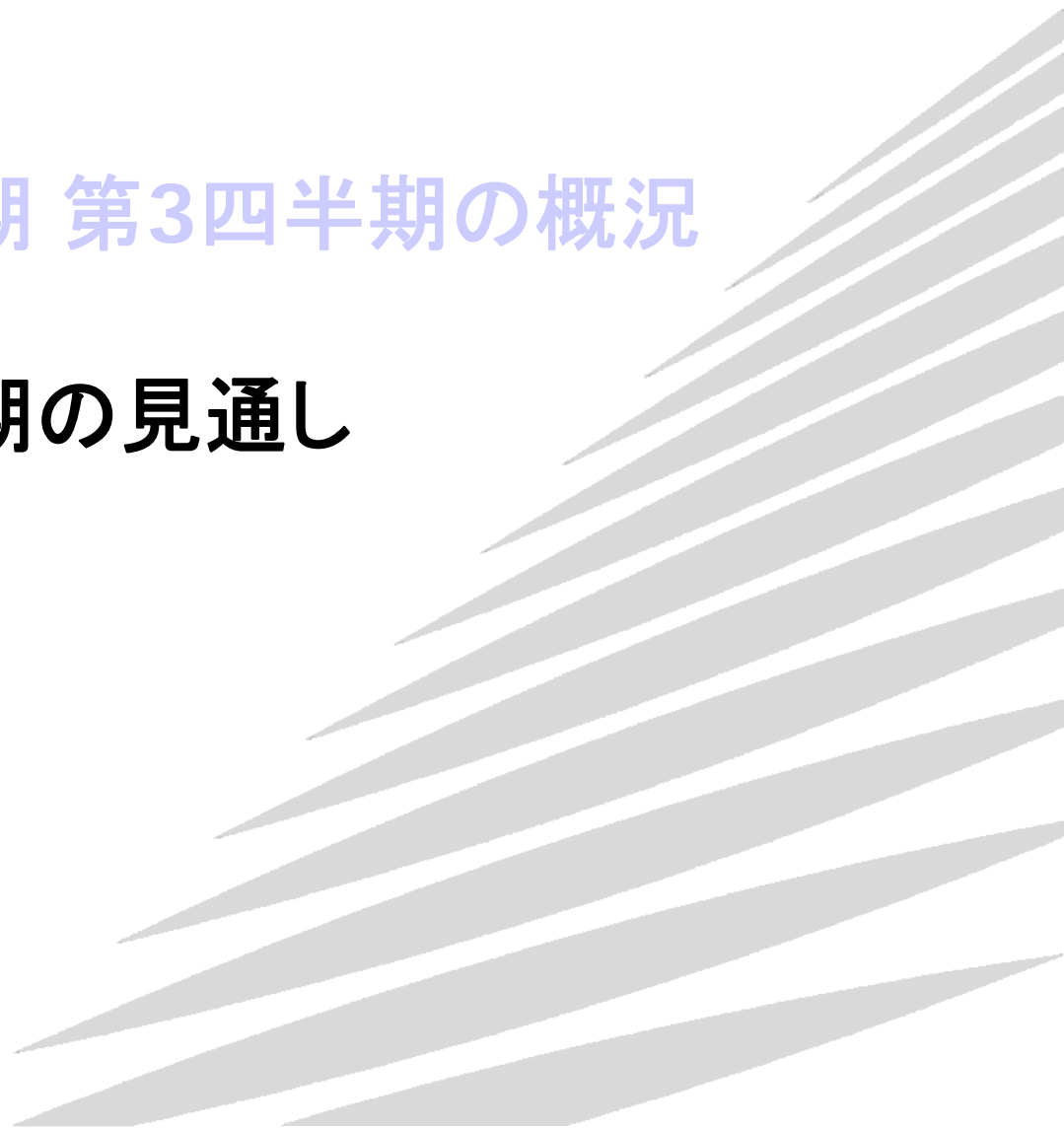
- ・超解像顕微鏡、デジタルマイクロスコープShuttlePix、非接触マルチセンサー3D計測システムなど新製品が好評
- ・産業機器分野が回復、3Q・3Q累計ともに前年比増収、赤字幅は大幅に縮小

Agenda

I . 2011年3月期 第3四半期の概況

II . 2011年3月期の見通し

III . 参考データ



2011年3月期見通し 連結売上高・損益



単位: 億円	10年3月期 実績	3Q累計 4Q	前回予想 (11/4)	上期 下期	11年3月期 見通し	3Q累計 4Q	前年 実績比	前回 予想比
売上高	7,855	$\frac{5,915}{1,940}$	8,700	$\frac{3,980}{4,720}$	8,700	$\frac{6,518}{2,182}$	+845	-
営業利益 売上高比	▲139 -%	▲ $\frac{161}{22}$	480 5.5%	$\frac{152}{328}$	480 5.5%	$\frac{337}{143}$	+619	-
経常利益 売上高比	▲153 -%	▲ $\frac{186}{33}$	490 5.6%	$\frac{178}{312}$	490 5.6%	$\frac{357}{133}$	+643	-
当期純利益 売上高比	▲126 -%	▲ $\frac{176}{50}$	300 3.4%	$\frac{106}{194}$	300 3.4%	$\frac{203}{97}$	+426	-
FCF	564		650		670			-
為替:ドル ユーロ	93 131	$\frac{94}{91}$ $\frac{133}{125}$	84 112	$\frac{89}{80}$ $\frac{114}{110}$	85円 112円	$\frac{87}{80}$ $\frac{113}{110}$		

市況悪化や競争環境激化の可能性を踏まえ、通期見通しは据え置く。
年間配当金19円の予定は変更なし(5円の間配当実施済み)

* 前回予想とは2010年11月4日発表における予想です。

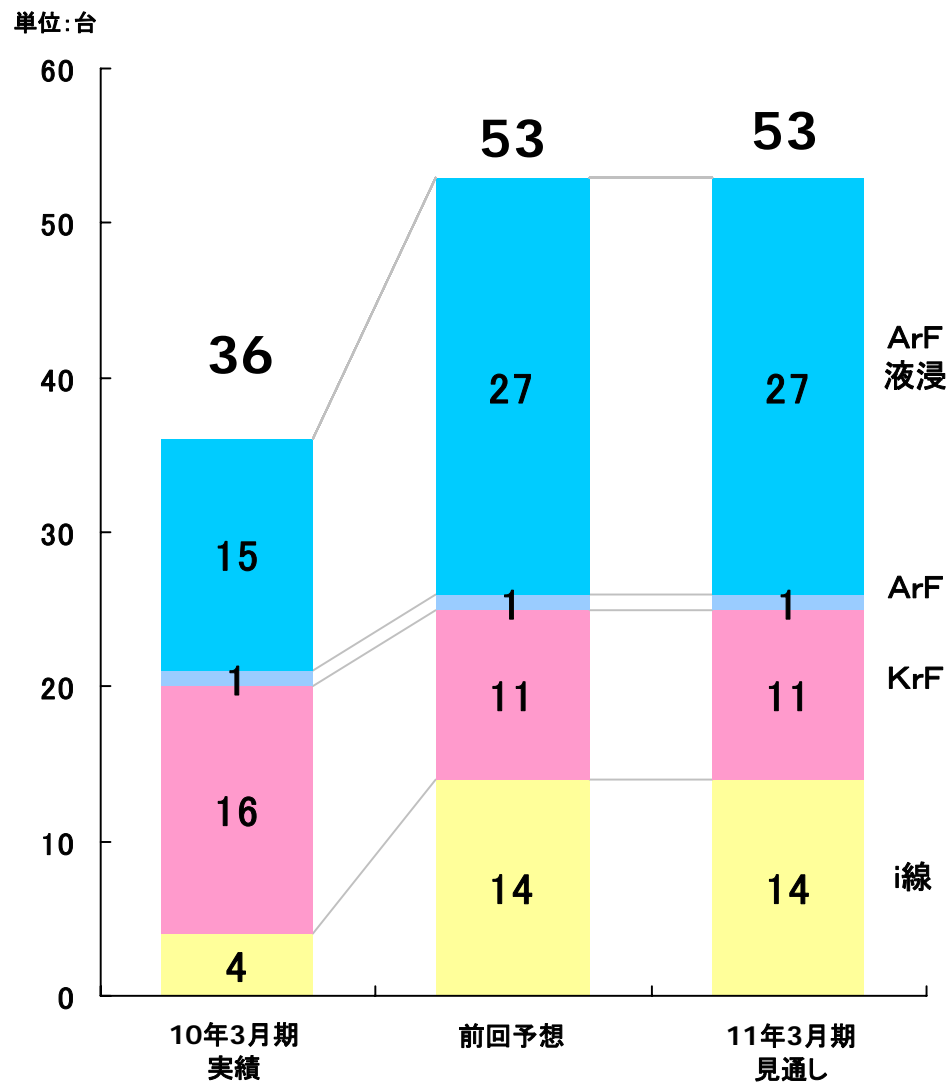
2011年3月期見通し 精機カンパニー



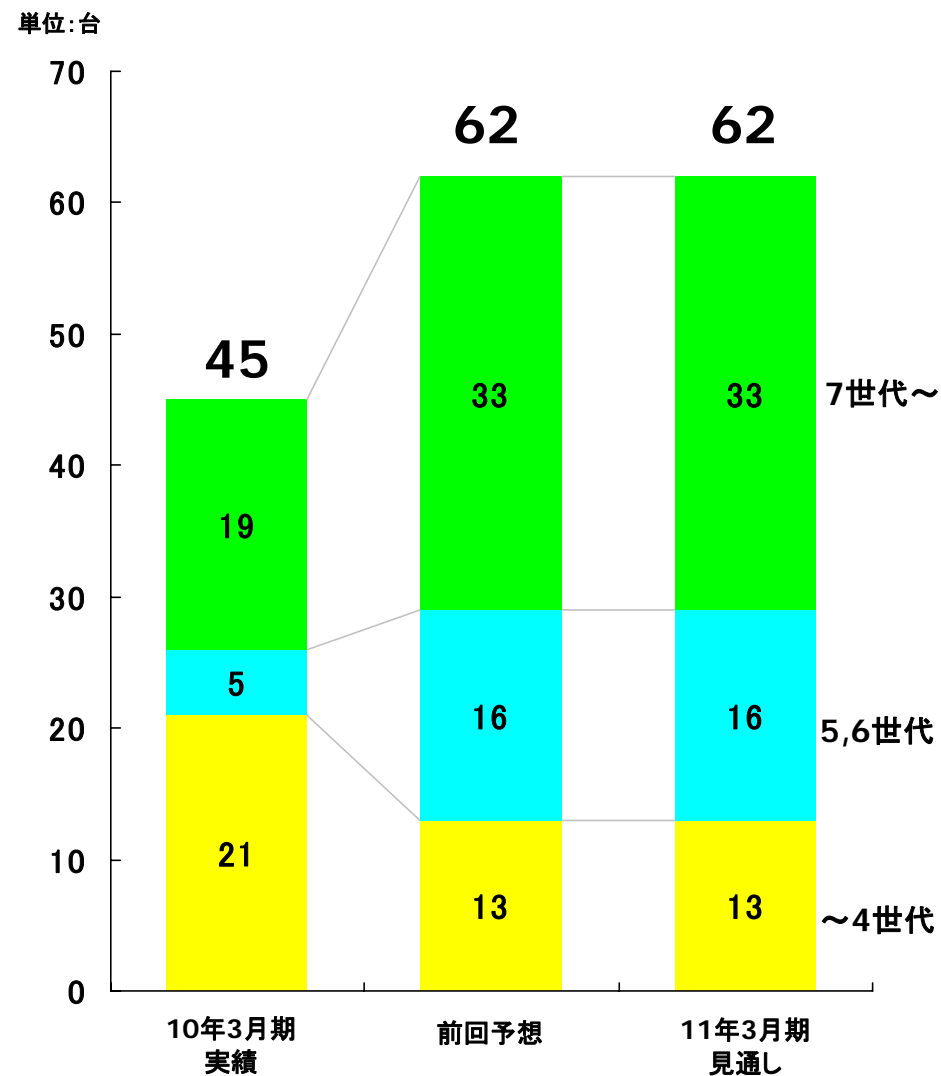
	10年3月期 実績	3Q累計 4Q	前回予想 (11/4)	上期 下期	11年3月期 見通し	3Q累計 4Q
売上高	1,501億円	$\frac{972}{529}$	2,150億円	$\frac{807}{1,343}$	2,150億円	$\frac{1,422}{728}$
営業利益 売上高比	▲586億円 -%	$\frac{\blacktriangle 532}{\blacktriangle 54}$	40億円 1.9%	$\frac{\blacktriangle 47}{87}$	40億円 1.9%	$\frac{\blacktriangle 14}{54}$
半導体露光装置 新品/中古	36/13台	$\frac{24/5}{12/8}$	53/24台	$\frac{18/12}{35/12}$	53/24台	$\frac{33/17}{20/7}$
液晶露光装置	45台	$\frac{30}{15}$	62台	$\frac{23}{39}$	62台	$\frac{41}{21}$
半導体露光装置 市場規模	112台		220台程度		220台程度	
液晶露光装置 市場規模	74台		110台程度		110台程度	

3Qに黒字転換を達成。4Qも増収・増益とし、通期での黒字化を計画、来期の本格回復につなげる

半導体露光装置光源別販売台数



液晶露光装置世代別販売台数



2011年3月期見通し 映像カンパニー



	10年3月期 実績	3Q累計 4Q	前回予想 (11/4)	上期 下期	11年3月期 見通し	3Q累計 4Q
売上高	5,695億円	$\frac{4,501}{1,194}$	5,750億円	$\frac{2,818}{2,932}$	5,750億円	$\frac{4,540}{1,210}$
営業利益 売上高比	521億円 9.1%	$\frac{440}{81}$	460億円 8.0%	$\frac{223}{237}$	460億円 8.0%	$\frac{380}{80}$
デジタル一眼レフ カメラ	367万台	$\frac{285}{82}$	425万台	$\frac{190}{235}$	425万台	$\frac{315}{110}$
交換レンズ	545万本	$\frac{420}{125}$	635万本	$\frac{295}{340}$	635万本	$\frac{480}{155}$
コンパクトデジタル カメラ	1,151万台	$\frac{922}{229}$	1,400万台	$\frac{670}{730}$	1,400万台	$\frac{1,160}{240}$
デジタル一眼レフ カメラ市場規模	1,088万台		1,300万台		1,300万台	
交換レンズ市場規模	1,772万本		2,200万本		2,200万本	
コンパクトデジタル カメラ市場規模	10,274万台		11,200万台		11,200万台	

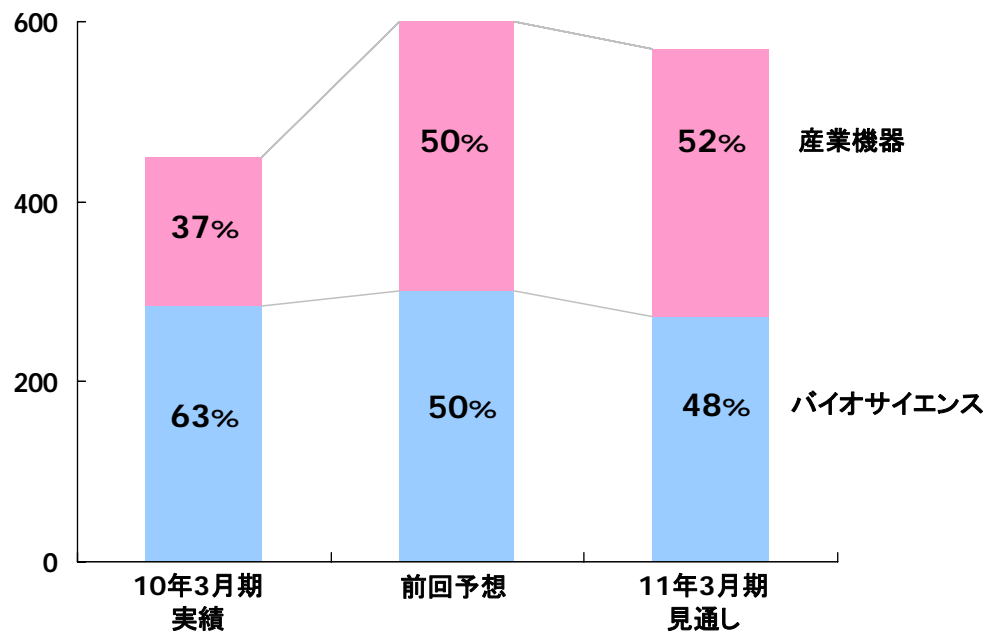
販売は引き続き好調の計画だが、個人消費落ち込み・競争環境激化などの懸念もあり、通期見通しは据え置く

2011年3月期見通し インストルメンツカンパニー



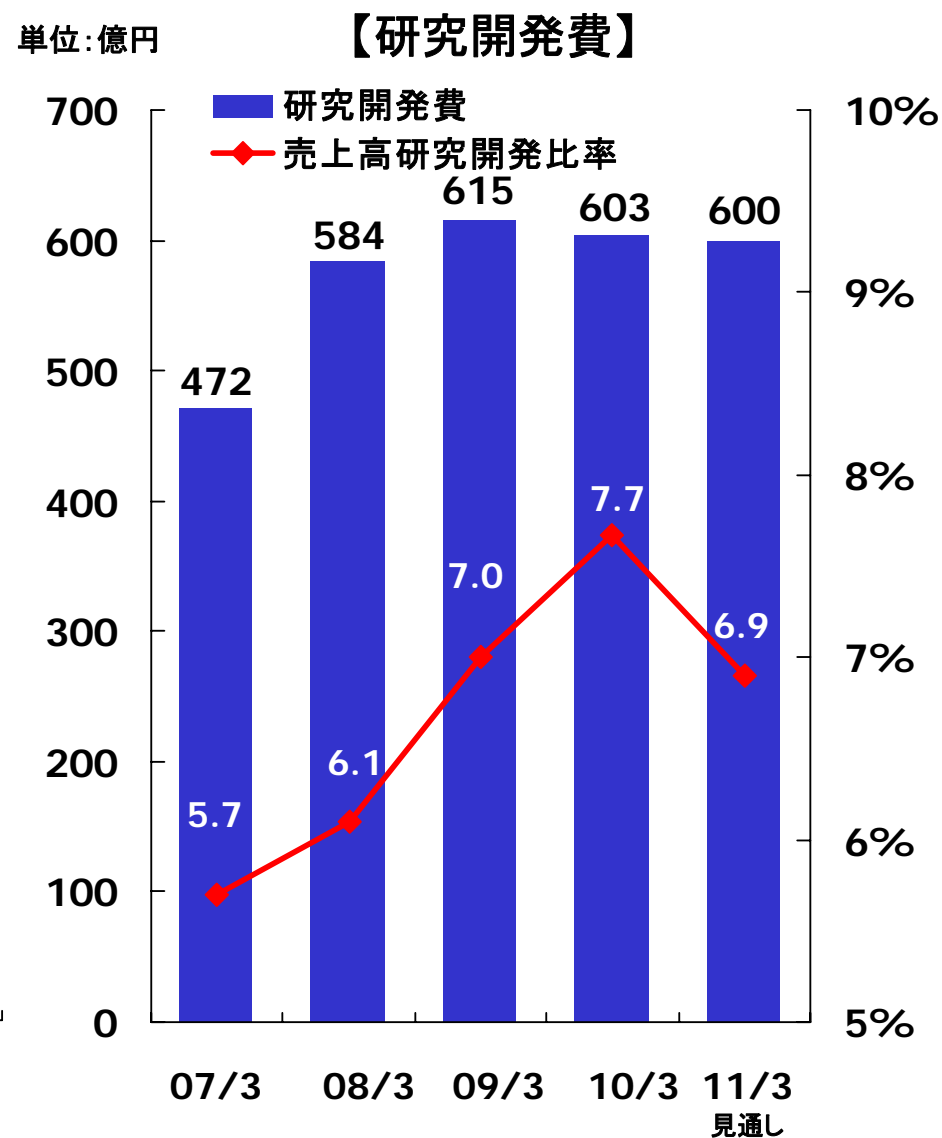
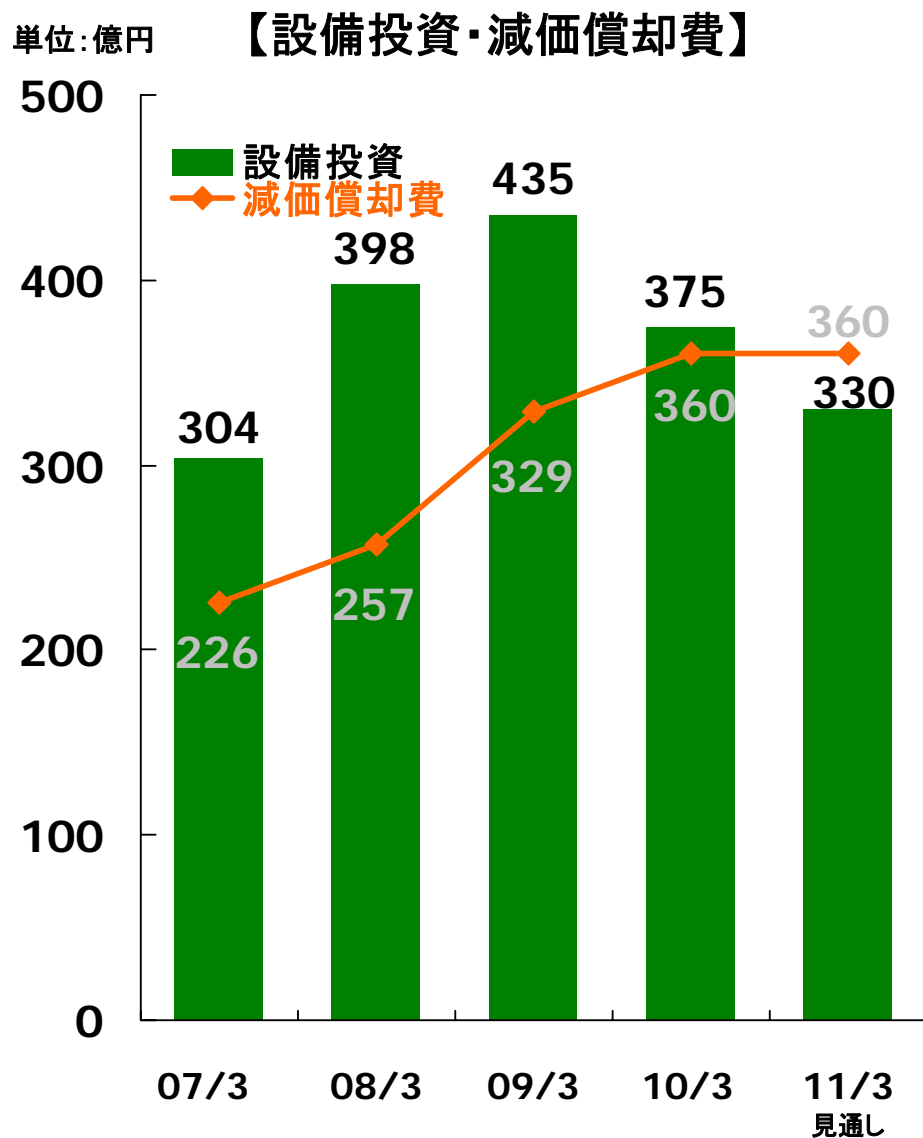
	10年3月期 実績	3Q累計 4Q	前回予想 (11/4)	上期 下期	11年3月期 見通し	3Q累計 4Q
売上高	451億円	$\frac{296}{155}$	600億円	$\frac{242}{358}$	570億円	$\frac{372}{198}$
営業利益 売上高比	▲93億円 -%	$\frac{\blacktriangle 83}{\blacktriangle 10}$	▲50億円 -%	$\frac{\blacktriangle 41}{\blacktriangle 9}$	▲55億円 -%	$\frac{\blacktriangle 58}{3}$

単位: 億円



バイオサイエンス分野で、各国の政府支出が縮小見込みのため、売上高・利益計画を下方修正する。4Qで黒字を目指す計画に変更なし

2011年3月期見通し 設備投資・減価償却費 研究開発費



注)09/3以降には、リース会計基準の変更に伴うリース資産の取得額を含む。

◆**精機・インストルメンツの回復は計画通りに進行。期初想定以上の円高に対しても映像が健闘。この基調を確実なものとし、来期（2012年3月期）からの継続的な成長につなげる**

【精機】

- ・ArF液浸スキャナーS620Dは、今下期から販売台数が増加。
来期の販売台数増加に向け、お客様のプロセスに合わせた条件でのさらなる性能向上に引き続き注力
- ・高精細中小型パネル用途に、液晶露光装置の活発な投資が見込まれる。
確実な受注につなげていく
- ・リードタイム短縮により機会損失・棚卸増を抑制、コストを一層削減

【映像】

- ・新興国市場の開拓、商品力・顧客満足の向上に注力。市場の伸長を上回る販売の拡大と、コスト構造の改革による収益性改善を目指す
- ・新世代カメラ開発中

【インストルメンツ】

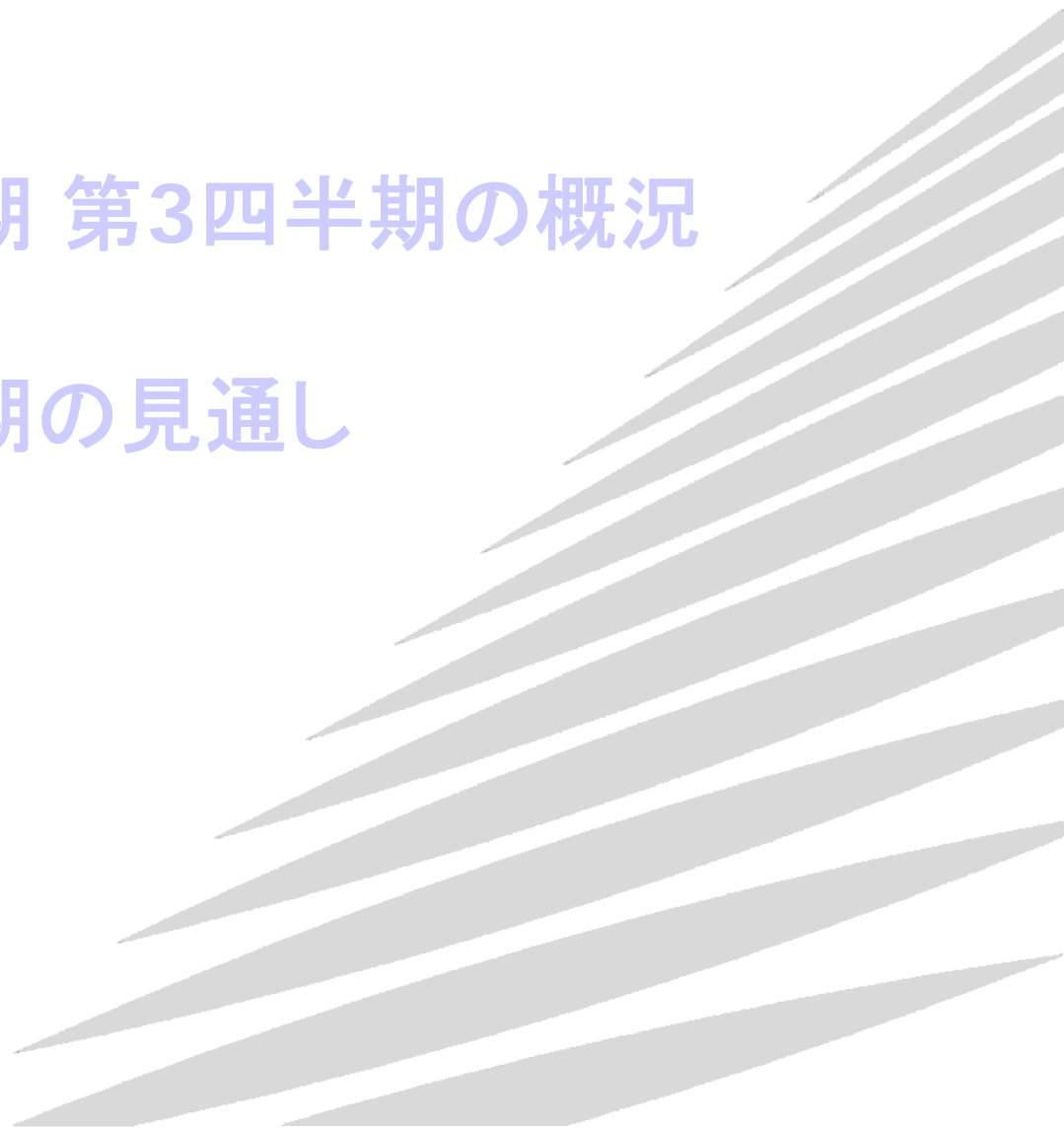
- ・回復基調の産業機器分野で確実に販売を拡大、バイオサイエンス分野でもハイエンドシステム商品を中心に拡販を図る。来期は通期での黒字化を目指す

Agenda

I . 2011年3月期 第3四半期の概況

II . 2011年3月期の見通し

III . 参考データ



2011年3月期 見通し

	為替レート	1円の変動による影響額	
	11年3月期 4Q前提	売上高 (4Q)	営業利益 (4Q)
USDドル	80 円	12 億円	3 億円
ユーロ	110 円	4 億円	2 億円

参考データ 2011年3月期業績見通し



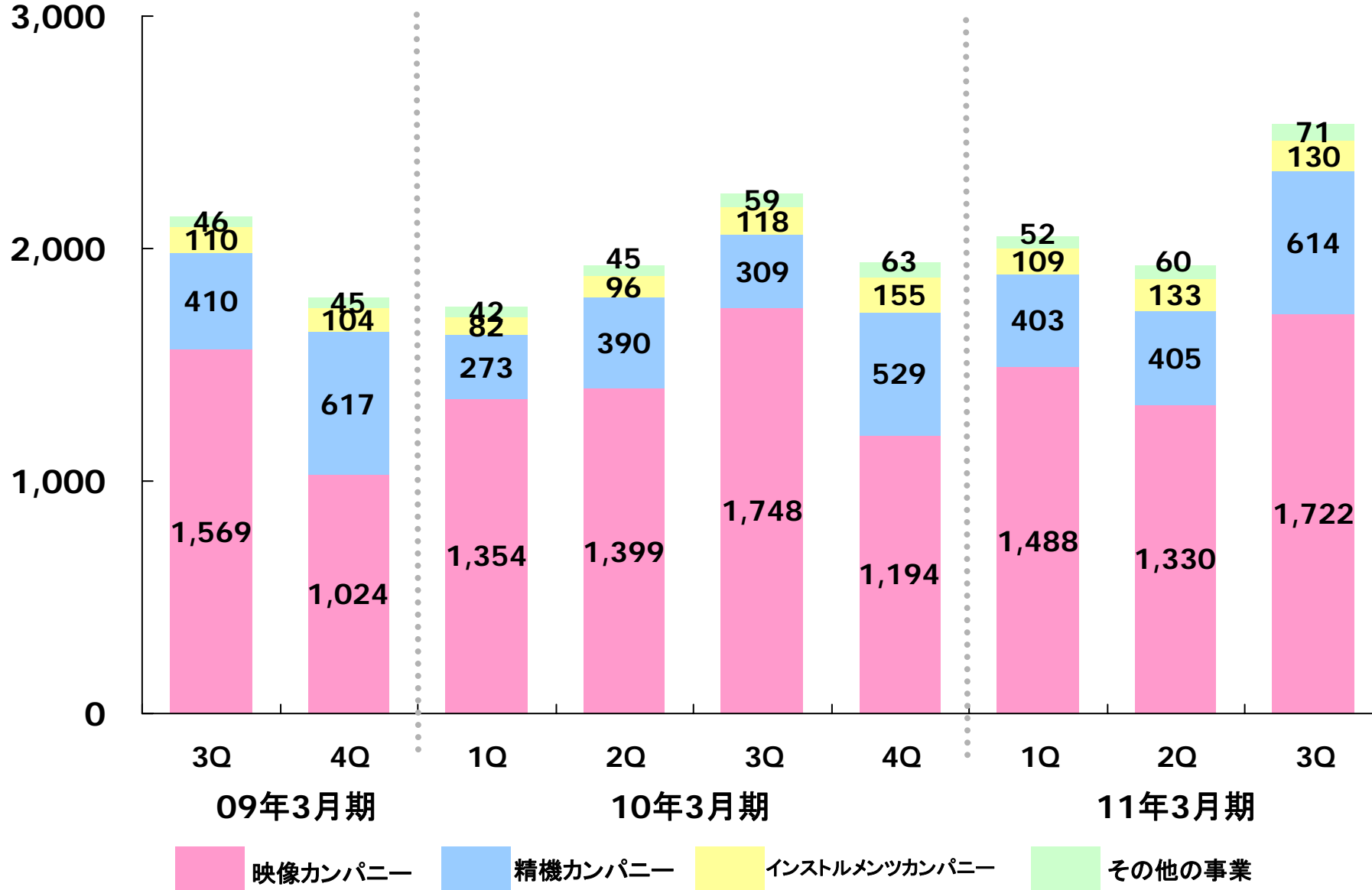
単位：億円

		10年3月期 実績		前回予想 (11/4)		11年3月期 見通し	
営業利益	上期	▲139	▲195	480	152	480	152
	下期		56		328		328
営業外損益		▲14		10		10	
経常利益	上期	▲153	▲223	490	178	490	178
	下期		70		312		312
特別損益		▲23		▲60		▲60	
法人税等		▲50		130		130	
当期純利益	上期	▲126	▲177	300	106	300	106
	下期		51		194		194

参考データ 四半期セグメント別売上高推移



単位:億円
3,000



参考データ 四半期セグメント別営業利益推移



単位:億円

